



研究トピックス

都市における人口、商業、公共交通の研究

専門分野

都市地理学 経済地理学

川瀬 正樹 KAWASE Masaki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdygygsggy>

研究概要

大都市郊外住民の通勤の男女差、住宅地の高齢化や交通問題、地方都市の商店街の現状と課題等について研究してきた。地理情報システム(GIS)を活用して人口や商業などを分析しているほか、広島平和学習へのGISの活用例を国内外の学会等で発表してきた。また、研究のため1年間、スウェーデンに派遣され、移民や環境に配慮した、北欧の持続可能なまちづくりの実践例を観察してきた。

研究シーズの応用

これまで、市史や町史の人口、都市、交通、商工業等の現代部分を執筆したほか、住宅団地を調査し、学生と住民とともに課題に取り組んだ実績がある。また、過去の空中写真(航空写真)と地図に関する講演や、地理情報システム(GIS)による商業分析の公開シンポジウムでの報告、GISによる初歩的な人口分析手法の地方自治体向けセミナーでの報告を行ってきた。さらには、GISを平和教育に活用する学会イベントに、毎夏、主催者の代表者として参加している。まちづくりや都市・人口問題のほか、地図やGISの分野でも地域社会に寄与できると考えている。

キーワード

都市 GIS 北欧



研究トピックス

アレルギー28品目を取り除いた食品の販路開拓に着手

専門分野

マーケティング マーケティング・リサーチ ブランド戦略 地域商業論
中小商業論 商店街概論 新商品開発

川原 直毅 KAWAHARA Naoki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yinkegygoggy>

研究概要

マーケティング・リサーチの領域は幅が広く、単なる市場調査から企業のマーケティング活動の調査まで至る。なかでも新商品開発やブランディング、販路開拓は特に中小企業・小規模事業者に於いては経営の隘路となる。小職はこれまで経産省・中国経済産業局の中小企業経営支援課、商業・流通課の補助金採択委員長の任にあった。現在は、Japan ブランド認定補助事業の委員として採択を行う他、女性起業家ソエル受賞者の販路開拓を後方支援している。また、商店街活性化について現在、広島本通商店街3丁目地区再開発事業に従事している。

研究シーズの応用

地域活性化の方策、商業・工業経営のコンサルティング、SDGs を念頭に置いたモノづくり 地域資源を活用した新商品開発と販路開拓

キーワード

商業活性化 新商品開発と販路開拓 人材教育



研究トピックス

主に Big Data・GIS などを用いた観光行動・ビジネスの調査研究

専門分野

観光（観光ビジネス・観光行動）

金 徳謙 KIM Deokkyum

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yymiysykggy>

研究概要

主に島嶼観光が周辺の地域にもたらす効果を、膨大な量の文字や画像、映像など、いわゆる Big Data を手がかりに研究しています。データの収集および分析には主に、（１）文字データにはテキストマイニング（内容分析）、（２）画像データには AI を応用した解析技法、（３）空間データにはデジタルマップの制作・操作・分析に欠かせない GIS (Geographical Information System) 分析、を用いています。このため、従来の抽象的でわかりにくい結果とは異なり、より客観的で明確な結論を得ることができます。

研究シーズの応用

つぎのような４分野に応用ができると思います。

- ・地域の観光情報発信のための WEB 用 3D 観光ガイドマップの作成

GIS を用いた正確なデジタルマップを制作し、ホームページなどへの公開することで、地域の魅力を新たな感覚でアピールすることができます。

- ・地域における観光者の回遊行動の把握・分析

来訪する観光客の行動を「多分」こうだろうと把握しているケースが多いと思いますが、観光者の行動を GPS などを使った調査により、より正確に把握することができます。このため、地域内における精度の高い観光計画や需要の予測などができます。

- ・観光者が地域に対してもっているイメージの分析

アンケートなどによる調査では地域の立場から観光客が持っているだろうイメージを推測することはできますが、実際の観光客が持っているイメージを把握することは、ほぼ不可能です。観光客が SNS などに書き込んだ膨大な口コミや評価情報（いわゆるビッグデータ）を収集、分析することで、観光客の本

音を読み取ることができます。

- ・観光政策やまちづくりに必要な基礎調査

政策立案は正確なエビデンスに基づく必要があります。正確なエビデンスは精度の高い調査を行うことでこそ手に入れることができます。観光客の本音を読み取る、行動を正確に把握する、特徴を正確に把握するなどのことは、近年のビッグデータやA I技術を応用した手法を用いることで必要なデータを手に入れることができるようになります。

キーワード

Big Data GIS 観光 行動



研究トピックス

公正かつ効率的な食品流通のあり方の追求

専門分野

食料流通学 農業市場論 農業経済学

矢野 泉 YANO Izumi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymidgeyeggy>

研究概要

農業経済学の中の農業市場学という分野で、農産物・食品の流通問題に関わる研究を行っています。生産者が農産物や食品を持続的に供給できる仕組み、またそれら生産物を量的、経済的、社会的に消費者に安定供給するための社会構造や政策を研究しています。

これまでの主な研究テーマとして、まず東南アジアにおける日本産農産物の市場動向と日本農業、東南アジア及び東アジアの食生活、東南アジアにおける学校給食普及等アジアの農業・食料に関わる問題解決に現地調査をふまえ、現地の研究者とともに取り組んでいます。日本国内においては、卸売市場やスーパーマーケット、専門小売業者等流通関係者からの聞き取り調査や統計分析、政策分析を基に、取引上あるいは政策上の現状分析と問題抽出を行い、農業市場学的な理論的議論や、問題解決のための具体的議論を行います。

研究シーズの応用

- ・卸売市場の整備や経営展望作成等の相談、助言
- ・食料消費動向等消費者アンケート調査の分析
- ・商業の活性化支援
- ・農漁村地域の活性化支援

キーワード

農産物・食品流通 卸売市場 東南アジア



研究トピックス

ひとづくりとまちづくりの好循環を創る学びのデザインとその社会的成果

専門分野

生涯学習論 社会教育学

山川 肖美 YAMAKAWA Ayumi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yimibgbgyggy>

研究概要

1960年代半ばにユネスコで生涯教育の考え方が提唱され、日本はそれをいち早く取り入れ、学校教育、社会教育、家庭教育の領域で様々な改革が実施されてきた。この改革の広がり、少子高齢化を伴う人口減少を背景に、教育領域にとどまらず、社会全体に広がりつつある。生涯学習担当部局の教育委員会から首長部局への移管化や2018年の中教審「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」における多様な人・セクター間の協働に関する記述等がその証左である。こうした中で、学びよりも地域づくりやまちづくりを偏重する動きもみられ、地域づくりやまちづくり起点の学びへの重点化が進み、結果として、地域課題解決や地域づくり・まちづくりに一見してつながらない学びの価値への軽視が一面でみられるようになった。

こうした現況と方向性に対して、ひとづくりとまちづくりの好循環を生む学びの仕掛けを創ることで、多様な学びに対する再価値化を図ることを目的に研究を進めている。まちの社会インフラとしての多様な学びの場や機能に着目し、先行する国内の市町やデンマーク・オーフスやアメリカ・ポートランド、ユネスコの学習都市（learning cities）等の思想と実装に学びつつ、その意義を整理するとともに、社会教育における個人起点の多様な学びを地域づくりやまちづくりの実践へつなぐための学びのデザインとそれが在ることによる社会的成果を明らかにすることに取り組んでいる。なお、ここでいう学びの社会的成果とは、学びによって「個人と社会にもたらされるすべての利益」（OECD Synthesis report2007）を意味するが、とりわけ、暮らしの質の向上とシビック・エンゲージメント（civic engagement）に焦点をあてている。

研究シーズの応用

世界に先駆けて少子高齢化を迎えた社会課題先進国・日本では、「新しい公共」の考え方のもとで世代や

立場を越えた人と人・知恵と知恵とのつながりにおいて、多様かつ未知の社会課題に向き合うことが地域や社会の持続には欠かせない。学習組織としての企業組織のあり方が提唱されたり、ワークショップと行政計画の策定を繋ぐコミュニティデザインを生業とする仕事が生まれたりなど、学習や教育が、学校を始めとする公的組織・機関にとどまらず、多様なセクターや場において創出され始めていることはその証左の一つであろう。

このように社会全体に必要とされ、拡がりを見せつつある学びの実践に対して、私の研究は、生涯学習論や社会教育学の視座から理論的根拠や実践のフレームを提示することができる。1990年代にヨーロッパ諸国から始まり、2015年にはユネスコが主導する学習都市ネットワークの促進により世界600都市に広がった学習都市の思想と実践は、学びを社会インフラに据えることで社会的包摂とイノベーション創出を兼備する持続可能な都市を目指すものである。地域にある学習装置（学習機会や学習コミュニティ等学びへの出入り口となる場）を通じて多様なセクター、多様な世代、多様な立場の人たちがつながることで、人と人、人とまちが出会い・学びあい、その社会的成果として個人の暮らしの質が高まり、社会関係資本や経済活動・文化活動・地域活動等が生まれ、持続可能な地域社会を構築する。

こうした考え方により社会変革を志向する人や組織・機関とともに共同研究や研究成果に基づく諸計画の立案・実装の協働活動ができれば幸いである。（ご関心の方は、研究課題「オープンガバナンスによるまちづくりと生涯学習」（2018年度ひろみら特別研究）、研究課題「学びから生まれるシビックエンゲージメントによる持続可能なまちの構築」（2019-2021年度科研基盤C 課題番号19K02489）の研究成果をご一読ください。）

キーワード

学びのデザイン 持続可能な地域社会 シビック・エンゲージメント



研究トピックス

広義の地域産業振興

専門分野

地域産業政策論

太田 耕史郎 OTA Koshiro

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymikgyysggy>

研究概要

地域産業振興のための方策（地域産業政策）を教育、暮らし、事業文化を含めて、また主に米国中西部の諸都市を参考事例として研究している。研究成果の一部は『地域産業政策論』、『ラストベルト都市の産業と産業政策』（何れも勁草書房）として発表している。

研究シーズの応用

地域の持続的発展には生活の基盤となる就業機会の創出、そして地域の状況に応じた地域産業政策が不可欠となる。その地域産業政策を研究課題としている。

キーワード

産業 街づくり 創造的事業文化



研究トピックス

野生動物の生態を解明し、適切な保全・管理手法を考案する

専門分野

野生動物管理学

奥田 圭 OKUDA Kei

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbkyogsggy>

研究概要

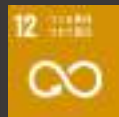
野生動物、特に哺乳類、鳥類を対象とした生態研究に取り組んでいます。近年、シカやイノシシなどの野生動物の個体数増加・分布域の拡大が全国的に生じており、人間社会との軋轢が顕在化してきました。このような状況を軽減するため、野生動物がどのような生態をしているのか明らかにし、その情報をもとに、彼らをどのように管理または保全していけば良いのか考える、「野生動物生態学」、「野生動物管理学」、「保全生態学」をベースにした研究を展開しています。

研究シーズの応用

野生動物の生態調査や被害対策の指導等に対応可能です。

キーワード

野生動物 生態 農作物被害対策



研究トピックス

地球温暖化防止のための炭素税やエネルギー政策などを研究

専門分野

環境経済学 環境政策論 持続可能な発展論

羅 星仁 NA Sungin

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yimgigygygy>

研究概要

再生可能なエネルギー普及のための国際的な研究を行った。再生可能なエネルギー導入による経済・環境への影響を計量的に分析し、その効果を明らかにした。現在は、再生可能なエネルギー普及のための東アジアにおける国際協力の推進および、原子力発電の可能性や安全性などをめぐる国際協力に関する研究を行っている。

研究シーズの応用

気候変動防止のための様々な政策がこれから導入されると思います。その中でも再生可能なエネルギーをめぐる政策や低炭素社会を実現するためのカーボンプライシングなどの議論で見れるように企業の負担増を伴う政策の導入が見込まれます。そのような政策への企業の対応などに協力できるところがあると思います。

キーワード

地球温暖化 再生可能なエネルギー 持続可能な発展



研究トピックス

環境的影響の評価や環境財・サービスの 経済的評価

専門分野

環境評価論

長谷川 弘 HASEGAWA Hiroshi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkigsgeggy>

研究概要

環境アセスメント、環境経済評価手法（TCM、CVM 等）、費用便益分析などを用い、SDGs を目指した環境配慮型公共事業の計画づくりや政策の策定

研究シーズの応用

複数考えられる事業案や施策アプローチのそれぞれについて、社会面、経済面、技術面、環境面等さまざまな視点から客観的に分析し総合的に評価することで、すべてのステークホルダー（地域住民、事業者、行政等）に合意される最適案を提案する。

キーワード

環境価値の見える化 SDGs 的総合評価 住民参加



研究トピックス

食で地域を活性化

専門分野

調理学 栄養学

木本 晶子 KIMOTO Akiko

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbdgdggeggy>

研究概要

アルコールの多量摂取の有害性は、今や一般常識といっても過言ではない。それにともないアルコールの多量摂取については多くの研究がなされている。一方、近年の疫学的調査では、適量のアルコール摂取が心臓病、糖尿病、がん、脳疾患などに対して予防的に働くことが示唆されアルコールのJカーブ効果として提唱されている。しかしながら、適量アルコール摂取についての実験的研究は極めて少ないのが現状である。私たちの研究では、高脂肪食摂取ラットに1%または2%のアルコール飲料を摂取させると1%アルコール摂取により肝機能の改善がみられ、2%アルコール摂取ではその効果が減弱していることを証明している。動物実験におけるJカーブ効果の実証はこの研究が最初である。それを皮切りにこれまで、老化促進モデルマウス・肥満糖尿病モデルマウス・乳がんモデルラット・大腸がんモデルラットに対する、適量アルコール摂取の効果を明らかにしてきた。

研究シーズの応用

お酒としてのアルコールだけでなく、発酵食品に含まれる少量のアルコールについても幅広い視野を持って研究を行っている。アルコールは飲みすぎによる悪影響が取り上げられがちであるが、適量がどれくらいであるかを知り、食文化を豊かにし、しかも健康にも良い影響があるかも知れないということを知ってもらおうきっかけになりたい。

キーワード

広島 食文化 アルコール 発酵食品



研究トピックス

ボトムアップなまちづくり・市民参画

専門分野

都市デザイン分野

木原 一郎 KIHARA Ichiro

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdmgigbggy>

研究概要

まちづくり、建築・公共空間の使い方の検討、建築設計の際に、一般市民がスムーズに参画できるような場・ワークショップ・アクションプランの計画などを行っています。特に市民参画が形骸化せず、今後自分ごととしての行動ができるようなプロセスや場について研究しています。広島市都心部での将来ビジョンを計画・実装していく取り組みを行っている#カミハチキテル- Heart of Hiroshima -にて実践的に研究しています。

またエリアマネジメントにおける協創のあり方を研究しています。協創が必要なことはみなさん理解されていると思いますが、実現させるにはとても多くの壁があります。それを乗り越えるプロセスやアクションを実践的に研究しています。

研究シーズの応用

まちづくりへの一般市民の参画、建築設計や空間活用における地域住民の意見収集、地域の今度のまちづくりの方向性検討、これらの検討プロセスや場の設えなどにお困りでしたらお力添えできます。またエリアマネジメントの進め方もご相談ください。

キーワード

市民参画 ワークショップ エリアマネジメント



研究トピックス

政策分野ごとの活動者のつながりを調べる

専門分野

公共政策論

広本 政幸 HIROMOTO Masayuki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yमितoyoykggy>

研究概要

子どもの支援を行っている民間団体が、同じ取り組みをしている他の民間団体とどのようなつながりを持ち、行政機関とどのようなつながりを持つようとしているのかということに対して、民間団体のどのような構造や仕組みが影響を及ぼしているかを確認する。

研究シーズの応用

民間団体が他の民間団体とつながりをもって事業を行おうとする場合、どのような条件を整えればいいのかを検討することに、応用できると考えられる。

キーワード

政策ネットワーク 民間団体



研究トピックス

各個人の幸福感を高められる、市民参画による持続可能なまちづくり

専門分野

都市計画 都市戦略 環境システム

三浦 浩之 MIURA Hiroyuki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymigsgsggy>

研究概要

地方版総合戦略、長期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画、環境基本計画、循環型社会形成推進地域計画、廃棄物減量等推進計画、住生活基本計画、社会資本総合整備計画、下水道整備計画等の策定に関連する研究に取り組むとともに、各自治体において、これらの策定にも関与しています。とくに、EBPM (Evidence Based Policy Making) と市民関与による政策・計画の立案、オープンガバナンス、そして、これらに寄与するオープンデータに着目しています。

研究シーズの応用

政策・計画の立案における EBPM アプローチと、立案における市民関与の手法およびオープンガバナンス、そしてこれらに寄与するオープンデータについて、応用できるシーズを有しています。

キーワード

EBPM 市民関与 オープンガバナンス オープンデータ 協働